



Weekly report

2018-19年度ガバナー
村井 総一郎



インスピレーションになる

2018-19年度RI.テーマ
RI.会長 パリー・ラシン

例会日 第一・第三木曜 12:20-13:30
事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄1-22-16ミナミ栄ビル402
例会場 TEL 052-253-7821/FAX 052-253-7820
ホテルナゴヤキャッスルホテル TEL 052-521-2121
〒451-8551 名古屋市中区樋の口町3番19号



第52回例会

2019年1月24日(木)

司会進行 現王園陽子 会場運営委員
「我等の生業」唱和

会長挨拶

奥村 与幸 会長



本日は素晴らしいお客様にお越し頂いており、注目していただきたい為、私は手ぶらでやって参りました。本日の挨拶は1分で終わります。その心は、その時間を是非片山パストガバナーに使って頂きたいからです。詳しいご経歴は後ほどご紹介いただきますが、ネットで検索するなどしてもお名前は度々か目してあります。そういった意味でも本日は大変素晴らしい方にお越し頂きました。

1分20秒経ちましたところで、私の会長挨拶とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

出席報告

浅野慎之 出席委員長

	会員数	出席数	出席率
当日(1/24)	44	31	70.5%
前回(1/10)	44	33	75.0%
	会員数	修正出席数	修正出席率
前回(1/10)	44	44	100.0%

ニコボックス報告

浅野慎之 出席委員長

本日は宜しくお願ひ致します。

名古屋東南RC 片山主水パストガバナー

片山パストガバナーをお迎えして。

奥村与幸

高木勝

パストガバナー片山様をお迎えして!!

鈴木拓将

片山主水PDG今日は卓話訪問有難うございます。

遠山堯郎

当月は職業奉仕月間です。片山パストガバナー、

本日はありがとうございます。

高木俊郎

寒いですね!

酒井俊皓

先日は新入会員歓迎会を開いて下さり

ありがとうございました。

不破直行

1/31の浜岡視察お待ちしております!

大谷まさみ

第52回例会を祝して

浅野信 浅野慎之 出口茂 現王園陽子
権田淳裕 樋口昌男 堀場和孝 加藤謙一
河合秀紀 河村直樹 水野紀孝 野々垣雄介
大野将義 鈴木達央 田中吉彦

R情報委員会より報告

鈴木達央 R情報委員

～「ロータリーの友」おすすめページ～

P35【先着12人にJ.ニクラウス氏とのゴルフプレーのチャンス】

当クラブはゴルフ好きの方が多いと思います。ただしポリオに25万ドル寄附をするという条件がございます。私はちょっと難しいですが、どなたかもしご興味持たれたら…というご紹介です。しかし寄附は1月22日で締め切られており、今回は難しい内容ですが、ロータリーではそのような機会も与えるというご紹介でした。

職場見学(1/31)について

担当 大谷まさみ

参加する方へは資料を配布しております。

8時50分イオン金山店集合です。熱田イオンと間違えないようお願い致します。くれぐれも提出した住所と同様の記載がある身分証明書をお忘れないようお願い致します。有効期限の確認もお願い致します。また、動きやすい服装でお越しください。夜に懇親会も予定しており、ご都合つく方は事務局へご連絡ください。

幹事報告

鈴木拓将 幹事

●韓国にて囲碁大会が開催されます。4/6(土)17時～前夜祭、4/7(日)9時～16時にて対戦が行われます。ご興味のある方は事務局へお問い合わせください。

●過日案内しております、分区のゴルフ大会について再度ご案内です。第8回名古屋を兼ねての企画です。4/12(金)8時～@スカントリー。7名より12名の参加要請を頂戴している為、是非皆様ご参加いただけますようお願い申し上げます。

●本日例会後に第7回定例理事会を3階「梅の間」にて行います。

●次回例会2/7(木)12:10～13:30@ホテルナゴヤキャッスル1階「シャンボールの間」、クラブフォーラムの開催を予定しておりましたが、2/21の例会にて開催を予定変更しております。次回は卓話例会です。例会後、第8回定例理事会を行います。

●先日メールにて案内したお茶会の件、2/5・2/12(火)にて下村会員よりご企画頂いております。多くのご参加お待ちしております。

●1/21(月)新入会員歓迎会を予定しております。

●3/11(月)19時～21時@矢場とん栄セントライズ店にて豊田三好RC様と合同例会を開催致します。本例会は3/14(木)の例会に振り替えます。また、メールでも詳細を送付申し上げます。

卓話「職業奉仕がロータリーの金看板になるには？」

名古屋東南RC 2008-09年度ガバナー 片山主水 氏



過分のご紹介をいただき、ありがとうございます。お招きをいただき、はじめて、皆さんのクラブを訪問させていただきました。よろしくお願ひします。今日の演題の「職業奉仕がロータリーの金看板となるには？」という意味は、職業奉仕が文字通り、金看板と言えるには現在の議論では、何か不足しているのではありませんか。それは、何でしょう？という意味です。

取り敢えず、職業奉仕として基本的に論じなければならない、私が考えている点を申し上げ、それに対する現在私が理解しているところをお話してご参考に供したいと思ひます。

その自問自答の前に一つ、ロータリー在籍47年間の一会員から

ガバナーまでのそれぞれの目線でクラブを見、地区を見、そしてロータリーを観察して理解できたことの一つを申します。何でもないことの様ですが、重要なことです。それは、ロータリーはロータリー・ロータリアンが行うすべての有用な行為・活動を「奉仕」(Service)という用語で表わしているということです。例えば、親睦の為の行為も奉仕ですし、会員増強も奉仕行為です。しかし、その「奉仕」の中にはロータリーの目的となる奉仕目的とならない奉仕があります。クラブ奉仕の「奉仕」はロータリーの目的としての奉仕ではありません。クラブという組織があれば、会員がクラブのために何がしかの労力を提供することは当然のことですから、目的とはならないのです。このところを理解しておいてください。

職業奉仕の本論に入ります。第1点は、ロータリーは、いろいろな社会事象、例えば、健康問題・交通問題・家庭問題等々の中から、なぜ、ことさら職業を選択し取り上げ、そして、なぜ、それを対象に社会奉仕とは別に職業奉仕という分野(原文ではアヴェニューといっています)を設置したのでしょうか。そこには、次のような理由があったと考えられるからです。

①には、職業・仕事は自己・家族の生計の資を得るための不可避の活動であり、現在では多くの職業においては、利を得る活動となっていますが、会員は全員有職者で職業は会員全員の共通かつ毎日の問題であり、②には、動物である人間も他の生命の犠牲なくしては自己の生命またその後ろに控えている家族の生命も繋ぐことはできず、職業自体の前身・発祥は、その後、物々交換・金銭売買等の合意取引引きへの進化があったものの、現時点においても原風景の弱肉強食の陰は変わらず、等価に至らないものを等価と強弁しなければならない危険を絶えず持ち合わせており、③には、職業は一世一代の大仕事で、仕事に人生の半分以上の精力を注がざるを得ないのであり、④には、職業はそれ自体社会性を有し、かつ個人・家庭が社会と繋がる唯一の重要な窓口・パイプに相当する役目を担っているものであり、⑤には、職業の成功・不成功が間違いなく自己・家族の幸・不幸に直結する関係の重大事業であり、⑥には、人間の所有欲は、神・仏の神性・仏性とも比較できず、動物の節理ある獣性にも劣り、時として理性ある人間とも思えない食欲は限り知らぬ危険をはらんでいます。

この様な「職業・仕事」に匹敵する問題のある社会事象は見当たりません。これらの故に、ロータリーが諸事象の中から「職業」を取捨選択し職業問題をロータリーの奉仕の対象とすべき目的に採択したのは、真に賢明であり、我々ロータリアンとしても、誇りとするにたる選択と採択であったと考えなければならぬと思われまします。

第2点は、それでは、この職業奉仕の本質的部分は何かということですが、以上のように、現在においても、職業が本質的にいくつかの他に類例を見ない他人の利益と衝突し他人の損失において自己の利益を計る虞れが多分にある性質の活動である点に鑑みて、各自は、率直に、そのことを認識・受容し、その原風景・原点を思い起こし、その轍を踏まないよう予防措置を講じ職業の質の向上の方策を考察・研究することが、「社会奉仕」から分岐した大通り「職業奉仕」という奉仕の本道ではないかと思っています。

現在の職業奉仕論の多くは、職業を通じてする奉仕、職業営むに際してする奉仕、職業に関連してする奉仕等と解するか、職業倫理の立場から職業の倫理的質の向上を目指して、高い倫理基準遵守の点を強調する職業奉仕論です。

しかし、前者を職業関連奉仕論と呼べば、職業関連奉仕論のいう奉仕行為は、例えば無料の健康相談・法律相談・建築相談、優良従業員表彰、職場見学例会、職業研修については、無料相談は無料とした時点で相談行為は職業とは関係のない社会奉仕の範疇に入りますし、優良従業員表彰は、表彰行為自体が自己の職業の質を向上させる行為というには間接的に過ぎ、従業員自体の職業の向上を目的としたものと考えても、被表彰従業員のこれからの自己の職業の質の向上にどれほどの誘導力・インセンティブになるか多少の不安が残り、職場見学は更に不安が残ります。職業研修は、自己の職業の研修でなくて青少年らの職業研修であってもその奉仕行為は職業の向上であって職業奉仕です。また、前者に類似した職業奉仕説に、地域・地元から原材料を購入して社会に奉仕し、地域・地元から従業員を雇用して社会奉仕をし、地域・地元で製品・商品を販売して地域社会に貢献し、時には地域社会に寄附を贈呈し、絶えず会社として奉仕する。これが職業奉仕ですという説もあれば、いや、同様ですが、職業奉仕とは職業に関連した特別の社会奉仕ですという判りのいい説もあります。しかし、地域・地元から原材料を調達し従業員を雇用し地域に商品・サービスを提供するという活動は、冒頭に言いましたように、職業の遂行には当然その行為が不可避的に存在するもので、職業奉仕を目的とした活動行為ではなく、両説とも、正鵠を外しているように思います。

後者の職業奉仕倫理説は、倫理基準の遵守の呼掛け、高揚は、まさしく必須・肝要の方策であります。それで充分であるかと言えば、やはり充分であるとは言いがたいと思われまします。職業倫理の多くは「これこれをしてはならない。」という消極的な禁止命令型の不作為

の倫理になるのは止むを得ないことですが、仮にそれを越えて、積極的な作為義務的な命令を倫理論として語られたとしても、前に言いました様に、人の生存の保持にかかわると共に強烈な所有欲を背景とした職業活動について、こうすべきである、ああすべきであるという積極的な作為義務的な命令型では、ロータリアンばかりでなく一般職業人の多くの納得を得て受容されることは非常に難しいと思われまします。

第3点は、しからば、その方策や如何?ということですが、難しいけれども、上記に述べたように倫理の消極的禁止命令的規準の遵守に対比される積極的作為義務的願望的指示の観点を加え、さらに職業上の物理的品質、技術、効率、合理性等の向上等により、業績の向上、利益の向上に繋がり取引の相手側(顧客)が等価交換でもプラスと感じるような売り手側の創価・付価ができる体制の構築が、本道ではないかと思われまします。

幸い、ロータリーは職業奉仕を重要視して、「ロータリーの目的」定款第5条の冒頭で「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。」すなわち、事業というのは職業・仕事のことですが、その基礎に人材でも資金でもなく奉仕の理念を置くことを奨励し、更にこれを育て上げることでありといっています。職業奉仕に関連深いことが、ロータリーの目的の冒頭で、触れられています。

そして、決議23-34(社会奉仕に関する声明)中、第1項において「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。

この哲学は奉仕 - 「超我の奉仕」の哲学であり、「最も良い奉仕をする者、最も多く報われる」という実践的な倫理原則に基づくものである。」と声明しています。

このうち、引用の標語「超我の奉仕」および「最も良い奉仕をする者、最も多く報われる」(One Profits Most Who Serves Best)は第一標語・第二標語と呼ばれていましたが、現在では単に公式標語と呼ばれています。第二標語の下線部分は原文に忠実な訳分になるように私が訳したものです。この二つの標語の関係は、一般的には「超我の奉仕」が社会奉仕、職業奉仕ほか総てに適用される標語であり、「最も良い奉仕をする者、最も多く報われる」(「最良奉仕の最多果報」また単に「最良奉仕」と略します)は職業奉仕に適用される標語と考えられています。私もそれが無理のない適用法だと思います。

「超我の奉仕」は「すべての奉仕に我欲を越えた心で臨みましょう」という意味の標語であり、「最良奉仕の最多果報」はそのままで読めば因果の事実を叙述したに過ぎませんが、これは標語ですから標語的に読まなければなりません。一「最もよく奉仕する者」ではありません。「最も良い奉仕をする者」です。職業において「最も良い奉仕をする者は、最も多く報われる」—シェルドンの意図は金銭的利益・儲けのことです。—のだから、最良の仕事をするれば、最多の利益(果報)が得られることは、シェルドンの研究により既に世の中で実証済みの原理・原則ですから、皆さん!最良の仕事をしなさい。そして、最大の利益が得られますよ、と読まなくてはなりません。

利益に誘導されて、人參を鼻先にぶら下げられて走るのと変わらないと思っ

たはなりません。事実その通りですが、前述の、職業活動・仕事は人の生存にかかわることと思ひながら、最良の質の職業を営みましょう。そうすればここに、右手に倫理遵守を、左手に経済的利得を誘因材として掲げ、最良の職業の遂行、職業の最上の質の向上を目指す方策が見いだされます。

以上の次第で、職業奉仕とは、職業に奉仕すること 職業を最良の形で遂行することです。

また、最良の奉仕とは 心を込めた最善の努力による最上の質のサービスを 最適の合理的な対価で提供し、また提供を受けることです。

質には 物理的ハード的な質と 精神的心理的倫理的な質の物心両面にわたる質を含むものです。従って 職業奉仕とは 職業上において最善の努力により心技ともに磨き、最上の質のサービス・物を提供し、また提供を受ける最良の職業を遂行する一連の活動のことです。

そして、演題の金看板というのは、誇りうる特筆すべき特徴的長所のことですから、特に社会奉仕と職業奉仕が、明確に峻別される様な関係でありたいし、それぞれ内容的に重複するところ等曖昧な部分ない奉仕で有りたいたいと思ふ訳です。

「最良奉仕の最多果報」を実践原理として応援に仰ぐのは経験豊富なロータリアンには順に辞退していただいて「最良奉仕を」のみに切り離し「果報」はあなたを慕って後から着いて来ると連絡できないものかと思案中です。

以上の理解するところで、金看板と言えたのではないかと思います。時間が少々過ぎました。「ロータリーを入れよ」はまたの機会に。ご静聴を感謝します。

次回例会【第54回通常例会】

日 時： 2月21日(木) 12時10分～13時30分
会 場： ホテルナゴヤキャスル3階「萩の間」
内 容： クラブフォーラム(上期決算、次年度組織案について)